

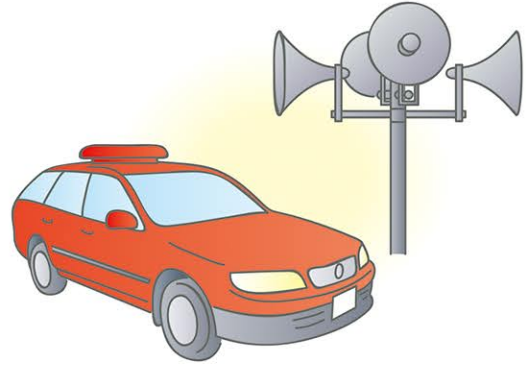
● 正確な情報収集と自主的避難を

テレビ・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の状況や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



● 避難の呼びかけに注意

危険がせまったときには、役場、警察署、消防団から、防災行政無線や広報車などにより、避難の呼びかけを行います。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。



● 要配慮者の避難にご協力を

高齢者・障がい者・病気やけがをしている方は早めの避難が必要です。隣近所の要配慮者の避難にご協力ください。



● 危険箇所を調べておこう

日頃からどこが危険か、避難場所はどこか、確認しておきましょう。外出する際には、がけ地に近づかないようにしましょう。



● 車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の妨げになります。また、交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなりますので、特別の場合を除きやめましょう。



● 動きやすい格好、二人以上での避難

避難するときは、自主防災隊内で声をかけ合って避難しましょう。また、水面下では道路や側溝などの境目がわかりにくいいため、杖などで安全を確認しながら歩きましょう。

